

高林白牛口二の謡を聴く会

おはなし

第一部

高林白牛口二

第二部

弱法師

高林白牛口二

東北

高林昌司

歌占

高林白牛口二
柿原光博

田村

高林呻二

主催 高吟会

令和4年 6月17日(金) 午後6時15分始 十四世喜多六平太記念能楽堂 (喜多能楽堂)

● 入場料 (全席自由席) ￥4,000 均一

※当日、弱法師の謡本を販売いたします。

● お問い合わせ

※チケットはお電話、メール、ホームページからもご購入いただけます。

【高吟会】

e-mail : koginkai@ares.eonet.ne.jp

http://www.eonet.ne.jp/~koginkai/

TEL : 075-462-1490 FAX : 075-463-3494

〒603-8354 京都市北区等持院西町15

【喜多能楽堂ホームページ チケット購入ページ】

http://kita-noh.com/ticket/



〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9 TEL : 03-3491-8813

JR 線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに
目黒駅下車徒歩7分

喜多能楽堂は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などのガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策ガイドラインを定めています。なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルス感染症の地域における動向や専門家の意見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとさせていただきますので、ご来場の前には喜多能楽堂 HP にてご確認ください。お客様におかれましても、ご自身の感染予防とともに周りのお客様にご配慮いただけますよう、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン
http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/



第九十四回 喜多流涌泉能

令和四年六月十七日(金)

第十三回 高林白牛口二の謡を聴く会

午後六時開場

動静以天地
視哉涌泉美
鈿之翁

第一部 午後六時十五分始

おはなし 弱法師について 高林白牛口二

休憩(十五分)

第二部 午後七時始

一曲独吟 弱法師 高林白牛口二

仕舞 東北 高林昌司

一調 歌占 柿原光博

仕舞 田村 高林呻二

附祝言

終了予定 午後八時半

主催 喜多流 高吟会

年齢を重ねる階段

高林白牛口二

一、十歳未満 白紙
幼な子を白紙に譬え、将来の第一筆を描くのは、誰の責任でしょうか。本人ではありません。

二、十歳台 転写

教える師匠と教わる弟子との根比べです。両方ともにですが、特に手取り足取りで教える師匠が弛んでは、将来への道は進めません。

三、変声期

個人差がありますが、五年間程の年月を必要とします。この間の処し方が、生涯に亘る声帯に致命的な影響を及ぼします。この間は声を出さない事が原則です。型の修練に、特化した日々を送ります。

四、二十歳台 発芽

声帯も落ち着き、そろそろ色々な事に気が付き出します。型と謡の関連性等に、興味を感じるようになる。大事な年代となります。

五、三十歳台 成長

如何にして型を生かすか、如何にして謡を生かすか等、課題が見えてきますが、まだ基礎の仕上げ段階で、自分で工夫は禁物です。

六、四十歳台 発展

そろそろ、自分なりに発現した工夫も、必要となってきました。但しあくまでも、土台を崩さずに、目先に囚われてはいけません。

七、五十歳台 開花

全て周囲を取り巻いているモノに、目配り気配りを徹底すると様々な現象が見えて来て視野が拡がり、自分の花が咲き始めます。

八、六十歳台 結実

永年に亘って目指して来たモノが、結果として実を結び、生涯の花や果実となって、成果を具現します。生涯の花が開く年代です

九、七十歳台 残香

体力的には急速に減退しますが、結んだ果実から発する香りが、老いの花として、本人の意志を伴わずとも、自然に発散します。ここまで辿り着けたら、生涯を振り返っても悔いは残りません。

十、八十歳台 余韻

最後に残るモノは声だと思えます。此の事は先人達も書き残していますが、大変な精神気力が必要です。この精神気力は生命のある限り、最初から終焉まで、持ち続けなければならないモノなのです。

次回予告

令和四年十二月十二日(土) 午後二時始

第九十五回 涌泉能 於 京都 大江能楽堂

能 六 浦 高林白牛口二
能 天 鼓 高林昌司

令和四年十二月二日(金) 午後六時十五分始

第九十六回 涌泉能 於 東京 喜多能楽堂

(第十四回 高林白牛口二の謡を聴く会)

一曲独吟 藤戸 高林白牛口二
他に仕舞・一調